

予算問題

問 滞在型観光予算は里山整備に使うべき

答 スノーハープ整備が望ましい



加藤亮 議員

【観光産業活性化について】

消費税が増税される中、観光産業活性化のための事業を、予算にどう反映させたのか。

村長 観光局への負担金を海外客対策として459万円

余を計上し、新規に小規模事業者経営改善利子補給の補助金50万円で支援を行います。

問 26年度の誘客目標値は。

村長 スキーシーズンは引き続き100万人を上回ることを、グリーンシーズンも前年を上回ることを目標にします。

問 県は「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地」の目標を掲げ、大北エリアを重点支援地域に選定した。基本理念からすれば、里山整備が優先事業と思われるが、この補助金を使ってロー

ラスキーコーススなどの整備に1億円を計上したが、「滞在型観光地」についての見解は。

村長 県の構想に沿って実施するが、スノーハープ改修事業です。

問 県の基本構想は、「北アルプスを軸とし、広く周遊・滞在させる観光地としてのモデルを目指す」となっている。ローラスキーコースの整備は、基本構想から外れていないか。

村長 外れているとは思っていません。スポーツ合宿など、観光に大きな波及効果があります。

問 グリーンシーズン観光客の目的は、八方・五竜・柵池へのトレッキング、木流し川、姫川源流、落倉自然園などの散策である。これらを上質な施設にする為に予算を使うべきでは。

村長 滞在型観光地づくりは「スノーハープの整備が望ましい」という検討委員会の提案に沿ったものです。里山整備事業については、親海湿原木道敷板の改修工事を実施します。

【下水道問題について】

問 今後も問題を引きずる加入分担金は廃止しては。

村長 住民訴訟の結果を見極めたいと考えています。

問 下水道受益者負担金を払った人と払わなかった人の不公平感は解消されていないが、見解は。

村長 村民の不公平感を解決するための引き下げや使用料の軽減は、非常に難しいと思います。事実を正確にホームページ、YouTube白馬、住民説明会で村民に伝えて、二度とこのような不祥事を起こさないことが重要だと思います。

問 報告書をなぜ村民に公表しなかったのか。村長は住民説明会を行うと述べていたが、いつ行うのか。

村長 事務改善報告書の概要版を5月中・下旬に全戸配布できる予定で、住民説明会はその後に実施したいと考えています。



木流し川散策路